



山口を映画に。映画制作プロジェクト～Planet of fiction on demand～

2月7日に山口大学人文学部棟大講義室にて2回目の上映会を行いました。最初の上映会から、Google Formを使って観覧後のアンケート調査を行っていましたが、その回答数が20件ほどに増えたことがとても嬉しく感じられました。山口大学での上映会の来場者は出演者や制作陣の友人が大半で、こちらからの宣伝を通じて開催を知り、見に来てくれた人が多くいました。しかし、アンケート調査では物語の核心に迫るようなよく考えられたコメントが時折見られ、脚本担当者もそれらの感想を興味深く受け取ったようでした。脚本担当者の意図では本来この映画は学生をターゲットにして考えた作品ではなかったのですが、学生たちの一部でもこの作品に正面から向き合い、深く考えながら視聴し、上映終了後も考え続けてくれた観客がいたということを嬉しく思います。また、自分たちの作品を通じて人の内面に踏み込んでいくような体験の一端に関わることができたのは、学生生活の中でも特に大きな収穫だったのではないかと感じています。



上映会会場に展示した
撮影の小物類

毎日をおしゃれに！～AIがあなたの持つ服からベストなコーディネート提案します～

今月は、色分けプログラム、服の分類プログラムで起こりうる問題を考え、その問題に当てはまるサンプルを購入することにしました。例えば、色分けプログラムでは、今は画像全体の中で一番多く出現している色をその画像の色としているのですが、チェック柄の服はどのような判定になるのかわかりません。また、ニットの服で2つの色が見られるようなものはどちらの色に分類されるのかわかりません。服の分類プログラムの場合、ボタンやチャック(ハーフジップ)が服の半分まであるような服はpulloverに分類されるのか、shirtに分類されるのかわかりません。また、服の分類では柄があると正しい判定が行われないうちがありました。これらの問題点から、サンプルになる衣類を購入することにしました。サンプル衣類から得たデータでどのような分析結果が得られるかさらに試していきます。



shirt/topのほとんどが
bagに分類された

Mechanical Suits～lucky～

今月は複数の先生のところに何度か伺い、アシストスーツについての理論の整理を行いました。これにより正確に技術の伝承が出来るようになり、また私自身もアシストスーツについて理解を深まりました。そして今回得た知識を取り入れて完成したのが、画像にあるMechanicalSuit v11です。これまでの試作品と比べて、壊れにくく、効果も数分歩けばはっきりと分かる程度になりました。これでやっとアシストスーツの基礎的な動作や調整を確立させたので、あとはよりアシストを強力にするためパワーを上げていだけ・・・だったのですが、また問題が。今よりもパワーを上げると、アシストスーツが体から外れ始めるようになりました。これを解決するために、現在は装着部の改良を行っています。これが終われば、ついに試作品として十分な性能を持つアシストスーツが完成しそうなのですが、おもしろプロジェクト期間内にはちょっと終わらなそうなのが残念です。でもおもしろプロジェクトのお陰で、あと一歩のところまで来ました。



Mechanical Suit v1 1

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト' 23 5月



「第27回おもしろプロジェクト' 23」募集しめきりました

4月28日(金)13時をもちまして、今年度の募集をしめきりました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

1年生からも、おもしろプロジェクトに関する相談が寄せられました。

「山口大学に入学したらおもしろプロジェクトをやろうと思っていました」

「地元でおもしろプロジェクトのワークショップに参加したことがあって、大学に入学したら自分も同じ活動をしようと思っていました。」という話を聞いてたいへん嬉しく思いました。

【通常プロジェクト】(最高支援額50万円)

5月20日頃 選考委員会によるプレゼン審査、採択プロジェクト発表

【light】(最高支援額10万円)

5月20日頃 書類選考委員会による選考、採択プロジェクト発表



「第26回おもしろプロジェクト' 22」学長賞について

昨年度採択された10団体のプロジェクトは無事終了し、各プロジェクトが1年間の活動成果報告として、最終報告書、最終ポスター、最終報告プレゼン動画を提出しました。おもしろプロジェクト学長賞は、それらの最終報告を評価対象として決定されます。学長賞は5月中に発表の予定です。

【2022年度採択プロジェクト一覧】

【通常】山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラーズ～

【通常】Mechanical Suits～lucky～

【通常】YY Chemical Cooking教室-美味しい科学、はじめてみました。～Y's kitchen～

【通常】山口を映画に。映画制作プロジェクト～Planet of fiction on demand～

【通常】山口のクリスマスを盛り上げよう！～ブラッシュアップ・ヤマグチ～

【通常】ベトナム人向け日本語学習アプリの開発～CHIWAWA Team～

【light】鉄道すごろくYAMAGUCHI～山口を元気にし隊～

【light】毎日をおしゃれに！-AIがあなたの持つ服からベストなコーディネートを提案します-

【light】AT-I(All Terraian Icarus)-飛行機能を備えたミニ四輪駆動車-

【light】固定翼ドローン普及プロジェクト～ヤマグチUAVボーイズ～

山口大学SDGs報告書 2021/2022年度版に掲載されました

「山口大学SDGs報告書 2021/2022年度版 SDGs達成に向けた山口大学の貢献」におもしろプロジェクトの活動が掲載されました。https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/sdgs_report/index.html

【Goal3】山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラーズ～

【Goal6】マイボトルを山口大学のステータスに～AQUA～

【Goal8】Mechanical Suits～lucky～

【Goal10】みんなでハッピーホースライフ！～馬活動室ボランティアグループ

【Goal12】リアル桃鉄YAMAGUCHI～山口を元気にし隊～

【Goal15】山口大学に生息する野生動物の多様性調査～Yammalogy～



**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト'23 7月



「おもしろプロジェクト'22」学長賞決定！

山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラーズ～

山口県産の農産品から、新しい医薬品の候補となる成分を探索し、その有効性について生化学的、物理化学的実験によって検証を行いました。地方創生と産学官連携、そしてSDGsにも適合したこのプロジェクトを通じて、将来は製薬会社との合同研究により山口大学発の新医薬品を開発することを目標としています。

正常細胞活性作用とがん細胞抑制作用が顕著であった青パパイヤの実を用いた製品開発を行いました。長期的に流通や保管を行うことを目的に、食品乾燥機を用いて低温乾燥させ、粉碎したものをカプセルに充填したサプリメントを開発しました。その名も“山口ベジ食べちょる”です。（最終報告書より）



“山口ベジ食べちょる”とパッケージイラスト(見本)

山口のクリスマスを盛り上げよう！～ブラッシュアップ・ヤマグチ～

「日本のクリスマス発祥の地は山口である」ことの認知度が低いことに着目し、その認知度向上及びイルミネーション装飾を通して地域活性化を図り、地域、学生等と連携することで大学周辺地域を盛り上げ、山口市のPRする「クリスマス市」を協働して作り上げることを目的とした。冬季に山大周辺と既存のツリーを拡張する形でイルミネーションを設置した。今回は冬季のみに絞った活動であったが、山口にはクリスマス以外にも魅力的な文化や歴史が多くある。団体名「ブラッシュアップ・ヤマグチ」の名にふさわしく、今後はそれらについても学生視点からできることを探し、その魅力を広めるとともに振興を図り、私たちの街、山口に磨きをかけていけたらと考えている。（最終報告書より）



SLやまぐち号をイメージしたオリジナルネオンライト

YY Chemical Cooking教室～美味しい科学、はじめてみました。～Y's kitchen～

食品の中で起きている化学を題材にして小・中・高校生を対象とした訪問型の化学実験セミナーを実施した。

「なんちゃってイクラ」「イルミネーションドリンク」「中和反応を利用したお菓子づくり」「5分でアイス」など実験を行い、そのメカニズムを知ること、身の回りの自然現象や自然科学、環境に対して追究・探究することの面白さや魅力を発信した。終了後のアンケートによると、約90%以上の学生が化学に興味を持ったと回答しました（実験前65%）。特に苦手意識を持っていたり、実験に抵抗がある生徒たちに、身近な食べ物や料理を通して「化学」を認識してもらうことができ、意識改革を図ることが出来たと考えています。（最終報告書より）



島根県立吉賀高等学校での化学セミナーの様子

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト'23 7月



2023年度おもしろプロジェクト採択団体決定！

山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ-【医学部ダンパ・フットボーラーズ】

山口県の動植物(主に農産品)の中から、医薬品の候補になるような人の健康に有用な有効成分の抽出と科学的な検証を行うことで、山口大学発の新医薬品の開発の第一歩につなげます。手法としては県内のフィールドワークや専門家の助言を通じて候補となる物質について、各種の科学実験を通してその有用性を検証します。農産物を題材にした研究により、SGDsに適合した産学官連携を実現した創薬開発を最終的な目的としています。

Mystery of Chemical Energy-炎色反応と電池からエネルギーを理解せよ！-【CE-Y ラボ】

本プロジェクトは、身近なエネルギーの仕組みを題材にして高校生を対象とした訪問型の化学実験セミナーを実施する。実験概要としては、「様々な果物で電池を作成し比較する実験」や「炎色反応を用いたオリジナルろうそくの製作」などの幅広い実験を行う。それらのエネルギーに関するメカニズムを知ることによって、身近なエネルギーの仕組みを探求する面白さと魅力を発信し、化学の苦手意識を軽減させる狙いがある。

放置竹林の資源化と利用方法の確立【破竹の勢い】

竹を資源として利用するために

- ①竹の効率的な伐採、運搬方法の模索
- ②過熱水蒸気を得るために小型のバイオマスバーナーとボイラーの設計と製作
- ③竹の幹の部分で過熱水蒸気によって繊維をほぐし、その繊維を強化剤として熱硬化性樹脂と混合し高機能樹脂とする製造方法の確立
- ④繊維の抽出に使用しづらいと考えられる枝部分は粉碎、成型し甲殻類、魚類の養殖餌として利用できないか検討、実験を行う

山口大学野良猫0プロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～【山大にゃんこ大作戦】

おもしろプロジェクト'18 で採択された「山大にゃんこ大作戦」から始まった学内の野良猫に関する取り組みは、その後サークル化された団体「山大にゃんこ大作戦」に引き継がれ、学内の野良猫に対する TNR 活動、TNTA活動などを進めてきた。2023年4月現在、吉田キャンパスで生息を確認している34匹中31匹は去勢/避妊が完了し(メスは全頭完了)、実質的にはこれ以上繁殖が起きない段階までできた。しかし、猫に関するトラブルは解消されたとは言えない。その原因は大きく2点あると考える。

- ①無秩序にエサやりが行われていること
- ②掃除が不十分なこと

この問題を解決するために、大学内の野良猫の管理(給餌・給水、掃除)は学生主体で実施するものとし、猫に関するトラブルの改善に取り組む。

ヤギ草プロジェクト【草をたくさん調べ隊】

本プロジェクトでは、山口大学敷地内における草本の種類を調査する。近年注目されるヤギによる除草を最終目的としており、今回のプロジェクトではその前段階として除草予定の場所の草本を2か月に1度調査することで、実際に動物による除草を行うのに適した土地なのかを判断する。また、草本を調査することで山口大学に生息する草本の種類を確認し、公開する。

山口をもっと魅力的な街にしよう！【ブラッシュアップ・ヤマグチ】

本プロジェクトは、昨年度採択プロジェクト「山口のクリスマス盛り上げよう！」の活動を踏まえ、さらなる山口の文化振興や地域課題解決に向けて活動するものである。山口の人々と交流しながら昨年よりも更に「山口のクリスマス盛り上げる」ために規模を拡大したイルミネーションやイベントを行うことをベースに、山口全体に目を向けて幅広い活動を行う。山口に住む大学生として文化振興や地域課題解決に向けたアプローチを模索し、人々に山口の良さを再認識してもらうことを目的として活動する。

【Light】リローブ(リサイクル🔄ローブ衣)～環境と財布に配慮した白衣リサイクル～【シェアーズ白衣】

一部の学科では、新品の白衣を購入しても数回の使用で使わなくなってしまう。また、多くの人は廃棄してしまいます。この現状を問題視し、白衣の長期利用と、学生の金銭面の負担減少を目的とし、白衣貸し出しサービスを考えております。アンケート実施後、白衣を回収し、クリーニングに出したうえで、貸し出しサービスを利用したい学生に貸し出します。また、サービスのサイクルを途絶えさせないためにも、下の学年への広報を続けていきます。

【Light】山口の廃棄食材をドライフードへ！【フードリーパー山口】

日本では年間522万tの食品ロスが発生しており、世界で14番目に食品ロスの多い国になっている。この522万tの食品ロスの内の275万t(53%)が事業系食品ロスであり、この現状を少しでも改善できないかと思いこのプロジェクトを計画した。まず大学付近の農家や漁師、猟友会の方々に協力をお願いして、規格に合わなかった食品等を安く譲って頂き、それらを加工してドライフルーツや粉末状にする。それらを配布したり、あるいは粉末をカレー粉することも検討する。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



ヤギ草プロジェクト～ 草をたくさん調べ隊～

6月からMTGを行い日ごろから頻繁にメンバーで情報共有をして、本格的な草本調査スタートに向けての準備を行いました。

MTGではプレゼンテーション審査でのご質問やご指摘を受けて、より良い活動にするには今後どうしていくべきかメンバーと話し合いました。予算の執行も始まるので予算に関する検討も重ねています。その中で以前の野生動物のプロジェクトの際に使われていた製本キットの利用を自主活動ルームからご提案いただけてとてもありがたかったです。初めておもしろプロジェクトに取り組むメンバーばかりなので、自分たちだけでは分からない点もたくさんあります。迷ったときや困ったときはおもプロルームの方に相談させていただきながら進めることが大事なんだと感じました。

梅雨の時期になって雨の日も多く、草も元気そうです。草本調査にはもってこいです。これから暑い夏がやってきますが、暑さ対策はしっかりと草本調査頑張ります！



山口大学にはどんな草が生えているかしら

放置竹林の資源化と利用方法の確立～ 破竹の勢い～

6月から本格的におもしろプロジェクト採択団体として活動を開始しました。活動内容としては、広告用のポスターの作成と竹を実際に切り出す予定の竹林の様子を見に行きました。新しく出てきた若竹の成長速度や竹林の拡大には改めて驚かされました。

7月は試験対策や実験に追われ時間管理が大変でしたが、SHS(過熱水蒸気)による竹片の加熱装置の設計、製作、さらには一回目の実験で竹片からの繊維の取り出しが完了し、少ない時間の中で良い結果が得られて非常に嬉しかったです。

活動は基本的に屋外になるので、猛暑の中体調を崩さないよう休憩や対策を徹底し無理をせずに活動したいと思います。



実験で取り出された竹繊維と竹片

山口大学野良猫Oプロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～

7月11日から1か所のエリアで給餌・掃除の管理活動の仮運転を開始しました。このエリア周辺の4匹の野良猫のうち、2匹が餌を食べました。本格的な活動開始に向けて、良いスタートが切れたと考えています。

また、野良猫侵入防止対策用の超音波装置の設置も行い、猫の生息域の固定・管理への取り組みも第一歩を踏み出しました。夏季休業中も活動に精一杯取り組み、この活動の勢いを衰えさせないように努めていきます。

ところで、エサやり禁止ポスターと動物遺棄犯罪ポスターはご覧になりましたか？これらのポスターは仮運転開始日にふようロード近くに掲示しました。野良猫への餌やりに対する責任を再確認し、また動物の遺棄・虐待はしてはならないということを心に留めていただけると幸いです。過酷な環境で生きざるを得ない野良猫の数を増やさないように努め、それにより引き起こされる問題を根本的に解決することが大切です。また、学生や教職員の快適な環境を確保するためにも、自分の行動について再考する必要があります。



野良猫侵入防止対策用ポスター

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト' 23 10月



2023年9月までの活動報告書より

山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラース～

昨年からの念願であったフィールドワークを行いました。訪れたのは須佐湾エコロジーキャンプ場で、海と山に囲まれた立地はフィールドワークを行うにあたり最適なロケーションでした。山道に自生する平地では見られない植物から、浜辺のハマヒルガオやツユクサといった海ならではの野草の収穫を行うことが出来ました。実費での活動となりましたが、貴重なサンプルの収集に加えて夏休みの思い出に残る活動となりました。そして昨年からプロジェクトに参加して頂いている宇部市内の小中学生と高校生の5名とその保護者の皆様を研究室にお招きし、研究内容や普段の大学生活の紹介などを行いました。またその後は実際に子ども達が集め、乾燥させた野菜や果物などの抽出処理を研究室の中で実際に体験して貰いました。今回調整して貰ったサンプルは実際に口腔がん細胞および上皮角化細胞に投与を行い、その結果を改めて報告する予定です。今回の教室をきっかけに基礎科学、ひいては山口大学への興味や関心が湧いてくれたら嬉しいです。



科学教室に参加した
宇部市内の子ども達

Mystery of Chemical Energy -炎色反応と電池からエネルギーを理解せよ！-

～ CE-Yラボ～

今月の活動は、児童館での打ち合わせと10月11日に実施するセミナーに向けて炎色反応実験を行いました。児童館を訪問することでその場の雰囲気を感じることが出来、今後の方針を明確に出来たと考えています。そのなかでも、小学生と1時間ほど遊ぶ機会がありへとへとになりながらも充実した時間を過ごせたことが印象に残っています。また、炎色反応実験では決められたなかで実験を行う必要があり複数回行うことで本番を想定した準備を行いました。来週には、初めての実験セミナーを行うことから忙しい日々を過ごしたのですが、メンバーとの日程調整のずれや資料作成の遅れが現在の問題となっていることから改善し本番を迎えたいと考えています。今月の活動を通して、実際に現場に出向くことの大切さと本番を想定した準備の大切さを学ぶことが出来ました。本番では、想定外の問題が発生することもあることから危険因子を取り除き、入念に準備をしたうえで行いたいと考えています。



炎色反応実験
(塩化ストロンチウム)

リローブ（リサイクル ♻️ ローブ衣）-環境と財布に配慮した白衣リサイクル-

～シェアーズ白衣～

今月は、回収などにより集めた白衣にそれぞれサイズと番号を付けました。白衣のサイズと一年生にアンケートをとった際の身長を照らし合わせ、誰にどのサイズを貸すかをリスト化しました。今のところ、サイズが合わないということはないと考えていますが、もしサイズが合わないという学生が出た時のために、どういった対策をするのかを考えていきたいと思います。白衣は、様々な方の協力があり、50着程度集めることができました。ほとんど未使用の白衣もたくさんあり、この中から、クリーニングが必要なものを選別し、クリーニングに出しました。また今月は白衣をいつどこでどうやって貸し出すのかといった、貸し出しの計画を建てました。10月6日(金)の昼休みを予定しています。1年生にはメールにてお知らせする予定です。いよいよ1年生に白衣を貸し出します。貸し出した後は、1年生に保管していただき、2年生の終わりに白衣を返してもらう予定です。



白衣の番号付け

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト' 23 11月



2023年10月までの活動報告書より

山口をもっと魅力的な街にしよう！～ブラッシュアップ・ヤマグチ～

今月は関係各所への連絡、湯田温泉パーク関連事業のミーティング、イルミネーション点灯式のミーティング、イルミネーション作りに取り掛かりました。湯田温泉パーク関連事業について、湯田温泉パークを運営するにあたり大学生の意見が欲しいとのことでお声がけいただきました。今後の運営体制として我々を中心とした部会を立ち上げていただきました。イルミネーション点灯式のミーティングについて、今年度の点灯式は例年と異なり学生が中心になって内容を考える事になったため我々が中心となり進めていくことになりました。イルミネーション作りの内容としては文字オブジェクトの制作です。まずは文字オブジェクトの設計図を作りました。次にその設計図をもとに文字の形に切り取りました。切り取りにはカッター、スチロールカッターを使い数人で作業しました。そしてそれらを並べて光らせてみました。まだ色塗りは終わっていませんが、設計図から全て自分たちで作り上げたものが光った時はとても感動し、これからの活動へのやる気が湧いてきました。



文字オブジェクトを試作しました

山口大学野良猫プロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～

10月28日の第11回山口大学ホームカミングデーに共同獣医学部企画の一つとして参加しました。地域住民の方から大学職員の方、小さいお子さんまで、20名近くの方にご来場いただきとても嬉しく思いました。私たちの活動についての紹介のほか、山口市環境衛生課の方をご招待し、野良猫を取り巻く問題や野良猫との関わり方についてご講演をしていただきました。実際に市内の猫に関する様々な声を受けられるお立場からの、楽しく分かりやすく、かつ中身の詰まったご講演内容で、私たち自身も大変勉強になりました。また、ご参加いただいた方と一緒にキャンパス内にいる猫たちを見て回りました。実際に見ることでキャンパス内の猫をより身近な存在として感じていただき、また野良猫と接触する際に気を付けるべきことについてもお話をしました。今回のイベントを通して、野良猫を取り巻く問題やそれに対する活動について、少しでも関心を持っていただけたら嬉しいです。



山口市職員の方のご講演
(ホームカミングデー)

リローブ（リサイクル ♻️ ローブ衣）-環境と財布に配慮した白衣リサイクル～シェアーズ白衣～

今月は白衣の受け渡しを行いました。事前に日時を指定しメールを送信しました。そのうえで10月6日に受け渡しを行いましたが、約半分の学生しか受け取りに来なかったため、再度メールを送信し、10月13日に受け渡しを再度行いました。その際に、10月6日に起こったサイズが合わなかった人、アンケートに答えただけがうまくできていなかった人などが数人いたためそれも合わせて、対応しました。最終的には43人の方に受け渡しができ、その後のサイズが合わないなどのメールはないため、受け渡しをした学生においては問題はなかったと考えています。したがって今年度の活動は以上になります。しかしこの活動を継続させていくためには、来年以降も渡した白衣の回収などを行う必要があります。この活動は、継続させていくことで環境と学生への負担を減らすことができると考えており、続けていかないと意味がありません。したがって今後も継続できるような体制を作っていきたいと考えています。



白衣の受け渡し会

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト' 23 12月



2023年11月までの活動報告書より

山口大学野良猫プロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～

いよいよ今年度のTNR活動が始まりました。山大にゃんこ大作戦ではメンバーの安全を守るため、猫から人に感染症を移すノミ・ダニの活動が比較的緩慢な冬季にTNR活動を行っています。外で暮らす猫はたくさんの病気を抱えています。TNR活動に限らず、外の猫と関わる際には自分や周りの人を守るためにも注意が必要です。今年度は、最近学外から侵入し居ついた2匹を含め、最大オス4匹を対象としています。新規猫を対象に含めるかどうか悩みましたが、繁殖をおさえるところまで来た現状を踏まえ、緊急性も加味し対象としました。当然ですがTNRには多額の費用がかかり、無制限にできるものではありません。安易なエサやりにより学外にいた猫を学内に居つかせてしまうことは、これまでせっかく積み上げてきたTNRの成果が水の泡になってしまう恐れもあります。放っておけない気持ちも重々分かりますが、その行為が及ぼす影響について少し考えていただきたいです。学内未去勢猫も残すところあと1匹になりました。全頭達成を目指し頑張ります。



TNR活動の様子

ヤギ草プロジェクト～草をたくさん調べ隊～

今月は、ヤギ除草を目的としてヤギのレンタルや販売を行う株式会社いきものがかり様へ訪問しました。ヤギ除草の現場を見学させていただき、除草の概要や季節の違いによる飼育の状況の変化、日陰の重要性、ヤギへのしつけの必要性、除草区画を囲う柵の費用など多くの内容を学ぶことができました。我々の活動の軸である毒草に関しては、毒草の種類と摂取してしまった時の対処法に加え、除草時にヤギは毒草を自ら避けてくれるが、人の手で与えた場合にのみ食べてしまうことがあるという今までの除草の経験に基づいたお話を伺うことができました。これは、我々が想定していたよりもヤギ除草実施が容易である可能性を示唆していると思います。また、今月は3回目の草本調査を行いました。かなり寒くなってきたこともあり、新規の草はありませんでした。来月も同様の結果になることが予想されます。調査時間の短縮でできる時間を利用して、蓄積している写真の同定作業を行えそうです。



株式会社いきものがかり
見学

山口をもっと魅力的な街にしよう！～ブラッシュアップ・ヤマグチ～

今月は文字オブジェ製作、イルミネーション製作、設置をメインで行いました。文字オブジェ製作は新しい取り組みということもあり悩むところが多いですが順調に進みました。イルミネーション製作ではコンセント部分に水が入りショートしてしまわないように防水作業をし、ネットライト、ストリングライトなどを設置しました。ネットライトはとても切れやすく、足や枝などに引っかかると簡単に切れてしまいます。実際に作業中にも切れて大変でした。補強したり切れないための工夫など改良の余地があると感じました。ストリングライトを巻き付けるためにメンバーが木に登るため高所の作業となり危険も伴うため難しかったのですが木登りが得意なメンバーのおかげでスムーズに進みました。しかしそのメンバーがいない時にはどうすればよいか、新しくやり方を考えるべきとも感じました。これらの作業の後イルミネーションをテスト点灯してみたのですが実際にイルミネーションが光るととてもきれいで感動しました。



ストリングライト
設置中！！

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト'23 1月



2023年12月までの活動報告書より

山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラース～

今月は長崎国際大学に訪問研究に伺いました。環境毒性学研究室の佐藤博先生の下でサンプルの分析やT2ファージを用いたウィルス価の評値実験について実験を行いながら手技を学びました。佐世保市内の地域産品を用いた製品開発の事例紹介として清水養蜂場を視察しました。清水美作さんは佐世保市で100年以上続く養蜂場の3代目として県養蜂業会の会長を務めておられます。養蜂場では蜜蜂の生態やハチミツやミツロウの利用法などについて伺い、丹精込めて作られたハチミツやプロポリスを頂きました。また大学病院の栄養治療部のフードロス削減に向けた取り組みについての会議にも参加させて頂きました。管理栄養士の堀尾先生はユズの種やドクダミの葉を用いたボディスプレーの開発を行っておられます。卵の殻や玉ねぎの皮などを頂きました。来月は宇部市のときわ公園にぎわい創出事業であるC-ubeで小野茶石けん教室を行い、宇部市の特産品の良さや科学への親しみを子供達へ伝えていきたいと思っています。



長崎国際大学
訪問研究の様子

ヤギ草プロジェクト～ 草をたくさん調べ隊～

今月の印象に残った出来事は、1年生の4名が新しくメンバーに加入したことです。メンバーの加入によってチーム内はより明るくなったと感じられて、草本調査などの実地調査の際にも一人当たりの負担が減り、今後はさらに楽しく、スムーズな活動が行えることを期待しています！メンバーが増えた分、アイデアの数も増えてくると思うので議論が活発化し、プロジェクトの内容も一層充実するのではないかと思います。今月から本格的に図鑑作成が始まりました。図鑑を作成するにあたって、できるだけ多くの人に見てもらいたいという気持ちから、印象的な内容を考えることも重要ですが、手に取った際の扱いやすさなども考慮する必要がある、今月は主に図鑑に使用する紙の材質を検討しました。来月から図鑑の内容にも少しずつ着手していくと思いますが、完成が待ち遠しいところです。来年からの活動には新規のメンバーも本格的に加わり、更に充実した活動を行っていききたいと思います！



年内最後の草本調査

山口大学野良猫Oプロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～

残る1頭のTNR完了を目指し、毎週末にTNR活動を行いました。寒さもますます厳しくなり、雪が見られた日もありましたが、メンバーで一緒に頑張りました。残り1頭の捕獲は中々手強く、あきらめモードになりそうな時もありますが、今年度いっぱいまで、粘り強く頑張っていきたいと思っています。

1日、獣医学会全国大会において、これまでの活動成果を発表しました。山口県大会から、中国・四国大会で優秀演題に選ばれ、全国大会まで進みました。活動に興味を持っただけで非常に光栄に思います。今回の発表の中でポイントとしていることは、「しっかりとした状況把握と、講習会等で得た正しい知識をもとに、サークル全体のゴールや方針を明確にしたことで、方向性がぶれずに活動を行うことができ大きな成果を得た」という点です。TNR活動から地域猫活動に移行していく中で頭を抱えることも多いですが、このポイントを改めて意識し、地道に一步ずつ進んでいけたらと思っています。



残りあと1頭！
TNR活動の様子

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト' 23 2月



2024年1月までの活動報告書より

放置竹林の資源化と利用方法の確立～ 破竹の勢い～



バイオマスバーナーの
過熱水蒸気生成部

昨年12月からようやくバイオマスバーナーの製作に取り掛かることができました。様々な困難があり予定より大幅に遅れてしまいましたが、プロジェクトの目標達成に一步近づいたと思います。活動も終盤になり、メンバー全員忙しく時間も取りにくかったのですが、1月末にバイオマスバーナーが完成しました。コンセプトと少し変更した点もありましたが、求めている性能を確認できて良かったです。時間の少ない中での活動でしたが学びがたくさんありました。



ついに完成した
バイオマスバーナー

山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラーズ～

宇部市教育委員会が後援する常盤公園賑わい創出事業である“学生による宇部市の総合文化祭C-UBE”に慶進中学校・高等学校の科学部の学生さん達と参加しました。恒例の小野茶宝石石けん作りワークショップを科学部の皆さんとの共同で行いました。これは本プロジェクトの学生研究員である慶進中学校3年の生徒さんからご提案をいただき実現したものです。当日、私達のブースには約200人の参加があり大変な盛り上がりでした。来場された篠崎市長とそのご家族にも石けん作りを体験して頂きました。また、宇部日報さんから取材を受けました。市長には試作した小野茶石けんと研究報告書をお渡ししました。1月17日には、村岡知事と北村参院議員に小野茶石けんと研究報告書お渡しするため山口県庁を訪問しました。村岡知事からは山口県産の農産品について研究している点を高く評価して頂き、是非これからも進捗をお聞かせ下さいと激励を頂きました。



総合文化祭C-UBE
ワークショップ

Mystery of Chemical Energy -炎色反応と電池からエネルギーを理解せよ！- ～ CE-Yラボ～

1月5日に山口市の児童クラブにて化学実験セミナーを行いました。今回のセミナーはこれまでの高校生とは異なり小学校低学年を対象にしていることから怪我に十分に注意したうえで臨みました。果物電池作成を通して、化学の魅力を発信することが目標です。小学生が自ら実験手順の工夫したりなど考えながら楽しんでもらえたと思います。この活動をもって今年度の化学実験セミナーを無事に終えることが出来ました。県外を含め各地方の高校生や小学生と交流することができ、貴重な経験することが出来ました。この活動を通して、問題に対する解決策を提示し、実行する力を身に付けたと考えています。全てのプログラムを無事に終えることができたのは、おもしろプロジェクト、常盤工業会や研究室のメンバーや多くの方々が協力してくださったおかげです。今後もより多くの学生に化学の魅力を伝えていくことを目標とし活動を行っていききたいと思います。



化学実験セミナー
in 児童クラブ

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第27回 山口大学おもしろプロジェクト'23 3月



2024年2月までの活動報告書より

ヤギ草プロジェクト～ 草をたくさん調べ隊～

引き続き図鑑づくりを行いました。今年度大学内で見つけた植物は100種類以上…！それを図鑑で調べて、ほかのメンバーがダブルチェックでオッケーをくれたら同定完了です。メンバー内で植物名についての意見が分かれた際に、「これは茎の色が…」「葉っぱの光沢が…」などと、あちこちで議論が起こっているのが楽しい時間でした。ありがたいことにメンバーが増えたので、何とかすべての草に名前をつけることができました！図鑑に盛り込む情報についての話し合いも行っています。本プロジェクトにとって最低限必要な情報は、植物がヤギにとって有毒であるかどうかです。しかしそれだけではなんだか物足りないと考えています。手に取ってくれた方に面白いと思ってもらえるような図鑑を作る予定なので、ぜひぜひお楽しみに！また、なんと本プロジェクトがSDGsに関する活動として山口大学の環境報告書2024に掲載されることになりました。注目していただいて本当に励みになります。引き続き図鑑作りがんばります！



似ている草が
たくさんあります

山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラーズ～

YUアイディアコンテスト2023へ参加し、念願の最優秀賞を受賞しました。これまでの研究から生まれた小野茶石けんには農業と新産業の新たな可能性に溢れていること、そしてSDGsに配慮した生産方法である点を高く評価して頂きました。また質疑応答や発表会後の懇談では審査員を務める県内の起業家の方からも貴重なアドバイスを頂き、今後の商品化に向けて大きな励みとなりました。また、2月下旬には宇部市SDGs私たちの未来共創交流会では“宇部市SDGs私たちの未来共創補助金”の助成対象となった5団体を代表して事例発表を行いました。青パパイヤの抗腫瘍活性と小野茶の抗菌効果について紹介した他、研究を通じた地域活動である小野茶宝石石けんづくりや子ども研究員制度、市民公開講座など市内の小中学校、高校との高大連携や地方創生に関する取り組みについても紹介しました。本年度も残すところ後ひと月となりましたが、最後まで精力的に取り組みたいです。



念願の最優秀賞を
頂きました

山口をもっと魅力的な街にしよう！～ブラッシュアップ・ヤマグチ～



イルミネーション点灯式
の記念写真

イルミネーション点灯式前日夜まで作業が続きましたが、点灯式には多くの人が多くの人に来てくださり大盛況でした。後日設置のペットボトルツリーに関しては、設置するときに風で形が崩れてしまったり想定外の事がありましたが、完成したツリーは好評を得ることができ、やった甲斐があったと感じました。

イルミネーション取り外し作業には1月22日までかかってしまいました。2年生メンバーがいないので、1年が主体として活動していかなければならないことを自覚しました。



イルミネーション
撤去作業

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**